



矢川プラス

国立市職員経験者通年採用案内

- 一般事務上級(建築技術)
- 一般事務上級(土木技術)



さくら通り



大学通り



城山さとのいえ

市長メッセージ



“まちの未来”を創る仕事が“自分のやりがい”に。
風通しよく働きやすい環境で、
笑顔あふれるまちを一緒に創りましょう！

国立市長 濱崎真也

文教都市・国立は、歴史・文化・教育が薫る美しいまちです。

その中で、子育て支援や教育、高齢者ケア、福祉、まちづくり・環境など、多様な市民サービスを通じて“笑顔あふれるまち”を創ることは、社会への貢献と自己実現が重なり合う、かけがえのない仕事です。

あなたにも、ぜひその喜びを感じていただきたいです！

国立市役所は、人口約7万7千人の小規模自治体ならではの“顔が見える組織”です。

職員同士の距離が近く、若手の意見や挑戦が市政に直結するスピード感があります。若手登用は全国トップ水準であり、30代の管理職も多数。女性の管理職登用も進めており、世代や性別を越えて意見を交わし、互いに学び合う風通しの良い職場です。

「働きやすさ」と「成長機会」の両立にも力を注いでいます。働き方改革とDXの推進により、ライフステージに応じた柔軟な働き方や、業務効率化を進め、仕事と暮らしの両立が自然と実現できる環境を整えています。

これからの国立市には、現役世代を呼び込む施策をはじめ、地域とともに新しい価値を創っていく力が求められます。市民の想いに寄り添いながら、未来をともに描く仲間を心から歓迎します。

私たちと一緒に「笑顔あふれるまち・国立」の未来を創っていきましょう！

採用担当者が考える “国立市役所のオススメPoint”



風通しのよさ・ チャレンジ環境

- ✓ 職員同士の顔が見える小規模な市役所
- ✓ 若手も裁量を任され活躍の機会
- ✓ 全自治体トップ水準の若手登用

働き方改革・DX

- ✓ 育休取得率は都内トップ水準
- ✓ ナチュラルビズによる働きやすい職場環境
- ✓ 重点分野を定めてDX推進中

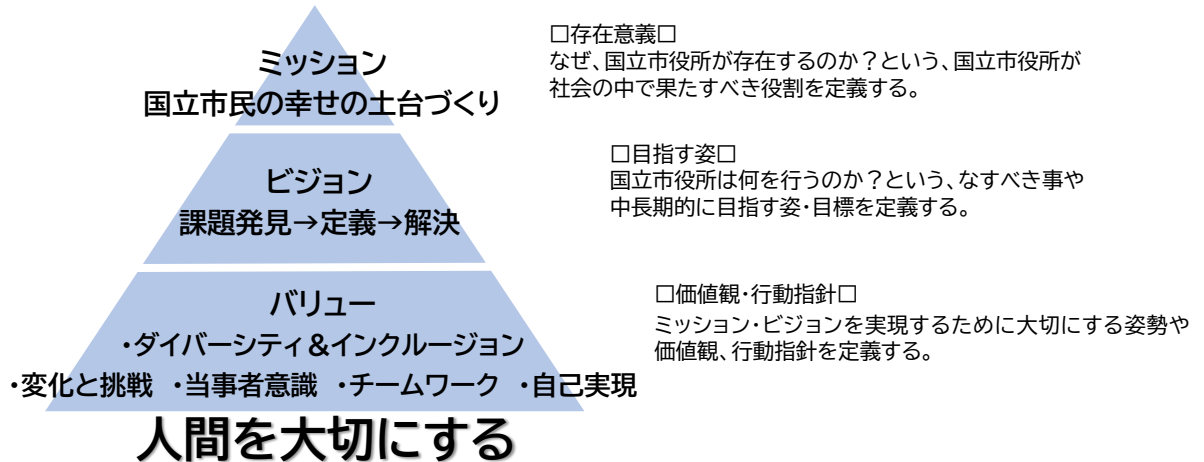
文教都市× 充実した市民サービス

- ✓ 落ち着いた住環境・景観
- ✓ 全国的に支援が手厚い都内自治体の中で、子育て支援・教育、高齢者支援等をさらに充実

『人間を大切にする』

国立市の最も重要な資源は、市民をはじめ、国立市で働く人、学ぶ人、訪れる人、訪ねる人など国立市にかかわるすべての人間です。すべての人たちの命・尊厳・生活を大切に、互いに尊重し合い、いきいきと活動しやすい環境を作ることこそ、まちづくりの本旨であり、核として位置づけられるものです。「人間を大切にする」という国立市のまちづくりの基本理念は、45年前に策定された第一期基本構想から今日まで一貫して引き継がれてきました。この基本理念は、「国立市平和都市宣言」や「しょうがいしゃがあたりまえにくらすまち宣言」にもいかされています。

『ミッション・ビジョン・バリュー』



「人材育成基本方針」における育成の方向性として、MVVフレームワークを活用することとしています。「人材育成基本方針」は、国立市の中長期的な計画である「国立市総合基本計画」の中に位置づけられるものです。

「国立市総合基本計画」は第5期基本構想・第2次基本計画の期間中です。基本構想は、国立市民を含む、市全体の方向性を示したもので、第1期の基本構想は昭和51年に策定されました。この第1期から現在の第5期に至るまで、基本理念「人間を大切にする」を、ずっと変わらずに掲げてきました。

この基本理念は、国立市の様々な計画の土壌であり、骨組みです。人材育成基本方針におけるMVVフレームワークでも、基本理念「人間を大切にする」を、その土壌として位置づけています。

求める人物像

広く強い当事者意識をもち、自己研鑽に励み、社会や市民が抱える課題に対し、常に学び続けることができる職員

業務内容



建築技術

都市計画や公共施設の
設計・監理等の業務



土木技術

道路、河川、
公園の管理等の業務

勤務条件と給与

勤務条件と給与

勤務時間 午前8時30分～午後5時15分※

休日 土曜日、日曜日、祝日

年末年始(12/29～1/3) ※

休暇 年次有給休暇20日

夏季休暇5日(令和7年度)、その他特別休暇等

初任給

上級初任給(給料+地域手当16%) 約280,720円

※職務経験年数、職種等に応じて、増額される場合があります。

※採用試験申込書類の職歴を基に初任給計算をしています。

※職歴の記載がない場合は無職であったものとして、計算をします。

昇給

年1回

諸手当

①扶養手当 子、父母等、対象に応じた手当額を支給

②住居手当 30,000円(28歳未満の借家・借間に居住する世帯主)

15,000円(35歳未満の借家・借間に居住する世帯主)

※上記の他、職員の給与に関する条例に基づき、通勤手当、期末・勤勉手当、時間外勤務手当等が支給されます。

福利厚生

各地の保養施設への宿泊助成や、パッケージ旅行利用助成、人間ドック助成、貯金事業、貸付事業などを行っています。

勤務時間・休日

①勤務時間は1週38時間45分(原則午前8時30分から午後5時15分まで)で、週休二日制です。

②休日は、原則として土曜日、日曜日及び国民の祝日等です。

※勤務時間と休日は、配属先により異なる場合があります。

休暇

1年間に20日の年次有給休暇(年度初めの付与日数)、その他夏季休暇、忌引休暇、結婚休暇、介護休暇、出産育児関連休暇等の制度があります。

勤務地

市役所本庁舎及び国立市内関連施設

国立市について

人口

77,000

人

面積

8.15
km²

職員数

478

人

富士見台重点エリアまちづくり ～100年に一度のまちづくり。国立の未来の景色を創る～



国立市の中心部である富士見台地域重点エリアにおいて、都市基盤の更新や公共施設の再編、居住環境の向上を一体的に進める約17haの大規模プロジェクトです。単なる施設の建て替えにとどまらず、同地区で先行した「矢川プラス」のように多様な世代が交流し、いきいきと暮らせる「新たな国立の顔」を創出します。まちの歴史を受け継ぎながら、市民との対話を重視(市民参加中心)し、次の100年を見据えた持続可能なまちづくりを牽引する、非常にスケールの大きな事業です。



アピールポイント

UR都市機構をはじめとする関係機関や民間事業者との連携・調整など、発注者としての高度なマネジメント能力が求められます。都市計画・公共施設再編(庁舎建替えや公共施設の更新)・都市公園や遊歩道の整備など、土木、建築やまちづくりなど、様々な分野の技術職が専門知見を持ち寄り、横断的に関わる複合的なプロジェクトです。検討会議等を通じて市民の皆様の声を直接聞き、それを具体的な「まちの形」として設計していく醍醐味があります。

やりがい

『100年に一度』と言われる事業の中心に立てることは、技術者としてこれ以上ない経験です。関係各所との折衝や調整など苦労する場面もありますが、自分たちが描いた図面や計画が、将来の市民の暮らしを支える『まちの景色』になっていくことを想像すると、大きな責任とともにワクワクします。自分の家族や子どもたちにも『このまちは自分が関わって作ったんだよ』と誇りを持って語れる仕事です。」





南部地域のまちづくり ～豊かな自然と歴史ある文化とともに発展するまち～



市域の約半分を占める南部地域は豊かな自然資源や各地で継承された歴史資源が残る貴重な地域です。南部地域のまちづくりでは、『豊かな自然と歴史ある文化とともに発展するまち』の実現を目指して、市街地の形成、狭あいな道路の解消など、地域に必要な都市基盤整備を進めています。



現在進められている矢川駅南のまちづくり



アピールポイント

市役所の土木の仕事は、一つの事業にとどまらず、交通、景観、防災、商業、くらし、賑わいなど、あらゆる分野が複合します。『総合的なまちづくり』のプロジェクトは、自らが起点となって始まります。

まちをどう良くしたいかという『想い』が形になる仕事で、実現したまちは、世代を超えて市民に使われ続けます。そして、市民の暮らしをどう豊かにしたのかを実感できるのは、まちづくりに携わる土木技術職の大きな魅力です。

やりがい

整備を進めている南部地域は多様な顔を持ち、すでに形成された市街地、農地と住宅地が混在する地域、さらにインターチェンジ周辺の準工業地域など、地域の魅力も課題も様々です。この多様な状況に合わせて、地域の方々と直接お話ししながら、防災機能の向上や生活環境の改善に取り組む、とてもやりがいのある仕事です。安全性と利便性の向上を図る道路拡幅事業では、その土台となる「用地取得」から始まります。



国立第二小学校校舎建て替え ～市民に親しまれ、記憶に残り続ける公共建設～

「数十年先まで街の風景として市民に親しまれ、記憶に残り続ける」
それが公共建築に携わる最大の魅力です。



アピールポイント

現在、本市では約45年ぶりとなる学校校舎の新築(建替え)工事を進めています。

子どもや市民を交えながらコンセプトをつくり、どのように実現できるか設計に落とし込みながら考え、出来上がっていく建物を現場管理しながら間近で見っていく。

スケールの大きな建物を、ライフサイクル全体を見据えながら、長く市民に愛されるシンボルを創り上げていく、大きな達成感を得られる事業です。

やりがい

国立市には、市立小中学校が11校あります。

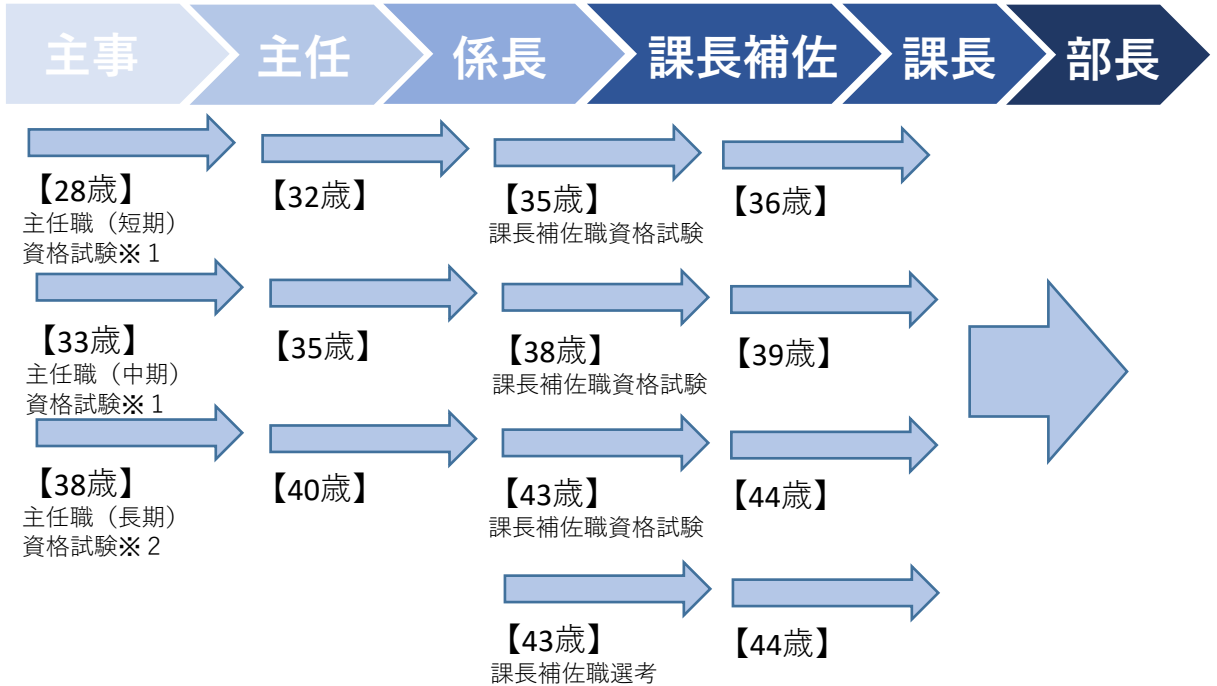
その他、大規模な公共建築物も多くあり、建替えや大規模改修などが必要となる時期になっています。

設計や工事管理だけでなく、一つひとつの公共建築物に視点を当てながら、使い続ける工夫や複合化など新たな空間を創る工夫を生み出していくマネジメント(企画・立案)も、建築技術職として活躍できるフィールドです。新たな挑戦にもチャレンジできる幅広い仕事です。



昇任制度

優秀でやる気のある人材を積極的に活用するため、国立市では、採用試験時の区分(上級・中級・初級)に関係なく、同じ条件で昇任試験等を受けられる制度としています。また、主任職への昇任試験において、他自治体や民間企業等の経験者の方は、過去の職歴を換算して受験要件の在職年数に加算できる制度としています。



※1 在職年数5年目(区分が上級の場合。中級の場合は7年、初級の場合は9年。)より受験可。(規則に基づき、在職年数に前歴加算が可能です。例:採用職種と同じ職種で、正規職員としての前歴が4年(区分が上級の場合。中級の場合は6年、初級の場合は8年。)以上ある場合は、28歳以上かつ市職員として在職1年目より受験可能です。)

※2 在職年数15年目より受験可。(規則に基づき、14年を限度として在職年数に前歴加算が可能です。例:採用職種と同じ職種で、正規職員としての前歴が14年以上ある場合は、38歳以上かつ市職員として在職1年目より受験可能です。)

※3 上記制度は令和8年4月1日時点での制度です。今後、制度改正等により変更となる場合があります。また、在職年数については、採用年月日や前職の職種・形態等により異なります。

国立市人材育成基本方針は国立市ホームページに掲載しています。
詳しい制度等を知りたい場合には、右記QRコードよりご覧ください。

国立市人材育成基本方針



人材育成・研修制度

市が目指す職員像とともに、考え行動し、成長する職員を育成するため、職員の能力向上を図る研修やキャリアアップを支援する制度が充実しています。

OJT

職場の上司や先輩が日常の業務を通じて、職場の状況に応じた職員の指導や育成を行う体制を整えています。

研修制度

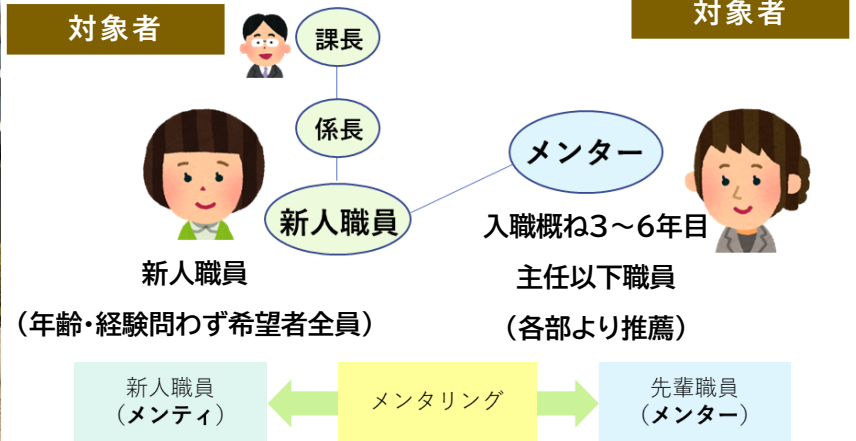
経験年数や職層に応じて、必要な知識や能力を習得する研修が充実しています。市の独自研修、東京都市町村職員研修所での研修等

自己啓発

- ☐ 自主研修
- ☐ 自主研究グループ
- ☐ 通信教育

メンター制度

新人職員が配属された部署の上司や同僚とは別に、指導相談・助言者となる先輩職員を置くことで、仕事上の悩みや不安などの相談を通じて、不安の軽減と人材育成を図ります。
新人職員などの育成対象(メンティ)に対して、先輩職員(メンター)との定期的な面談(メンタリング)を行うことを制度化したものです。



メンティへの質問

メンターへの質問

Q.1年目は、どんな仕事をしてきましたか。

窓口での証明書の発行。
庶務全般(消耗品・資金前渡)の手配。
家屋(新築・増築)の評価。新築家屋には内見調査に行く機会もありました。
他課・都税事務所からの調査の回答。

Q.メンターがいてよかった点やエピソードを教えてください。

仕事のリフレッシュする時間が作ることができ、プライベートな話や同じ趣味である野球のことについて気軽に話すことができたことが良かったと思います。
社会人経験もなかったので、社会人として気を付けること、やるべきことを教えていただいた。

これから入職する職員へメッセージ

1年前の私は何も分からず入庁いたしましたが、周りの方々の支えがあり何とか1年間やりきることができたと思います。
最初はわからないことや不安も多いと思いますが、必ず周りの方々が支えてくれます。
また、このメンター制度で、他部署の先輩職員の方がサポートしていただけますので、業務のことはもちろん、日々のちょっとした悩みや不安も気軽に相談できる環境がありますので、安心してください。
皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

メンティー経験者の我々も
メンターさんにはお世話になりました！！



Q.後輩の成長を感じた瞬間を教えてください。

初めて話をした時はまだ学校を卒業したばかりのあどけない印象でしたが、1年を通じて面談を行ったことで、業務への取り組みの姿勢や意識、将来についての考え方等様々な部分で変化を感じることができました。

Q.メンターを実施した際、気を付けていたことを教えてください。

気軽に相談できるような関係性になりたいと考えていたため、話しやすい環境を作ることに気を付けていました。
具体的には共通の趣味があったため、最初は主に趣味に関連した会話の中からメンティの話を聞き、次第に業務やプライベートの相談ができるよう、会話の内容を考えながら面談を行っていました。

Q.メンター制度があり良かった点や感想を教えてください。

今回メンターをすることが初めてで、何をしたら良いのか分からなく、試行錯誤の日々でした。しかし、メンティが今どんな状況にいて、何を悩んでいるのかより相手の立場になって考えることを意識したことで、メンティの悩みや不安の解消にもつながりました。また、私も業務等において物事を俯瞰的に見れるようになりましたので、自分自身も成長することができたと思います。

これから入職する職員へメッセージ

私自身働く上で職場の同僚との関係は重要なものだと常々感じています。
メンター制度に加え、国立市は職員同士のつながりが深い職場です。部署や職種の垣根を越えて関りが持てると思います。
人と人とのつながりを大切にして仕事をしたいと思う方はぜひ国立市役所に応募してください。

多様な人材が活躍できる職場

国立市では育児・介護に関する制度の充実だけでなく、ワーク・ライフ・バランスが実現できるよう柔軟な勤務制度などの整備に加え、年次有給休暇等の取得や男性職員の育児休業の取得促進などを進めています。

休暇等の取得の促進

年次有給休暇平均取得日数

15.1日/20日

◆全国平均 13.4日 ◆都内26市平均 15.18日

男性職員の育児休業取得率

83.3%

◆全国平均 59.6% ◆都内26市平均 76.3%

子育てと仕事の両立支援

育児休業（※無給）

3歳に満たない子を養育するため休業できる制度 ※条件を満たした場合、共済組合から育児休業手当金の支給あり

育児時間（有給）

1歳6月に達しない乳児を養育するために、1日2回それぞれ少なくとも30分 1日につき90分以内取得できる休暇

子育て応援部分休暇（減給）

小学校3年生を修了するまでの子を養育するため、1日の勤務時間の一部を勤務しないことができる制度

子どもの看護休暇（有給）

中学校就学前の子の看護（予防接種・健康診断含む）や、子の学校の学級閉鎖、卒園式・入学式等の式典への参加の場合に取得できる制度

育児休業を取得した男性職員へのインタビュー

取得期間：①平成31年3月30日～4月30日（32日間）

②令和5年2月28日～6月30日（123日間）



子どもが生まれた際、育児休業（1人目が1か月、2人目が4か月）を取得しました。もともと育児休暇を取得したいと思っていましたが、経験者の先輩や友人に話を聞き、より取得したいと思いました。休暇中は、お風呂やミルク、寝かしつけなどを行い、妻とともに苦労や喜びを共有することができました。そして、改めて子育ての大変さとともに妻にあらためて感謝しています。また、予防接種や検診などにも行くことができ、子どもの成長を目の当たりにできました。課長職として、数か月の育休取得は、職場への影響も大きいため、業務の引継ぎや日程調整等を係長と行いました。育児休業中は係長を筆頭に係員の皆さんがよく頑張ってくれたので本当に感謝しています。男性の育児休暇取得率や取得期間が増加してきていると思います。そのため、この間得た経験や知識をまた次に育休を取得してみたいと思っている職員に伝えていきたいです。

国立市職員採用試験 (一般事務職上級・保育士) 実施要領

1 職種・資格・募集人数

職種	試験区分	受験資格	募集人数
建築技術・ 土木技術 (一般事務職上級)	上級	・昭和56(1981)年4月2日以降に生まれた方 ・建築技術関係の学科または土木技術関係の学科等を卒業した方で設計・施工管理に関する実務経験(週当たり30時間以上の勤務に限る)が応募時点で3年以上ある方。	若干名

2 受験の制限

地方公務員法第16条(欠格条項)の規定により、次の各号のいずれかに該当する人は、受験できません。

- (1)拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者。
- (2)国立市職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者。
- (3)人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、地方公務員法第60条から第63条までに規定する罪を犯し、刑に処せられた者。
- (4)日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者。
- (5)民法の一部を改正する法律(平成11年法律第149号)附則第3条第3項の規定により従前の例によることとされる準禁治産者。

※試験区分の上級は大学卒業程度ですが、学歴不問です。

※外国籍の人も受験できます。ただし、本募集に係る表記(申し込み、試験、結果通知等)は、全て日本語によります。

※上記受験資格の期間は、休業、育児休業、介護休業等で休んでいた期間は通算しません。ただし、労働基準法(昭和22年法律第49号)等に基づく産前産後休業を取得していた期間は通算します。休業期間がある場合は、職務経歴欄に休業期間が分かるように記入してください。

※建築技術・土木技術については、それぞれの専門性を活かした業務で活躍していただける人材を募集するものですが、一般事務職として他の業務に従事することもあります。

3 採用予定日

原則として、欠員等の状況に応じ順次採用となります。



4 採用までのスケジュール

試験申込	☐ オンライン申込 (エントリーシート提出)	HPよりご応募ください。
第一次試験	☐ パーソナリティ検査 (Web受検)	※通年採用のため、試験のスケジュールは合格者へご連絡いたします。
第二次試験	☐ 個別面接試験	
第三次試験	☐ 個別面接試験 (プレゼンテーション面接)	
最終合格	☐ 採用候補者として名簿登載	【期間】 名簿登載から1年間
採用決定	☐ 欠員状況に応じて順次採用	

5 申込手続き



二次元コードからも
アクセスできます。

(1) オンライン申込

国立市ホームページ「職員採用募集」ページより、
申込受付ページへアクセスし、必要事項を入力の上、お申し込みください。
(通信費は自己負担です。)

(2) 必要項目

申し込みの際には、基本情報(氏名・住所・電話番号・メールアドレス等)を入力するほかに、次のファイルのアップロードが必要です。

●申込書・職務経歴書

※様式は国立市ホームページよりダウンロードできます。

●顔写真

(3) 申込に係る注意事項

- ① 申込内容に不足又は記載の不備がある場合は受付できない場合があります。
 - ② 選考に関する提出書類は一切お返しいたしません。
 - ③ 個人情報の保護に関する法律及び国立市個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、取得をした個人情報は適切に管理し、採用試験にて使用いたします。採用試験以外には利用いたしません。また、採用試験終了後、一定期間保管をさせていただきます。
 - ④ 内容確認のため連絡する場合があります。照会に応じない場合、申込を辞退したとみなすことがあります。
 - ⑤ 応募資格を有していない場合は、採用を取り消す場合があります。
- *必ず、上記①～⑤について同意を頂き、ご応募頂きますよう、お願いいたします。**
- ⑥ 事前に国立市職員課のアドレス「city.kunitachi.lg.jp」及び第一次試験の案内を送信するアドレス「examsinfo.jp」を、必ず受信許可ドメインに設定してください。



生活環境部 環境政策課
花と緑と水の係 主事

職種：一般事務(土木技術)
令和7年度入職



職員紹介①

※内容は取材当時のものです。

とある1日のスケジュール



- 8:30 現業さんと打ち合わせ
- 10:30 工事の契約書類作成
- 12:00 昼休憩
- 13:30 遊具点検の書類整理
- 14:30 水路へ現場確認
- 16:00 特定公共物占用申請の書類作成
- 17:30 退庁

Q1.現在の仕事内容

主な仕事は公園や水路の維持管理、改良工事の設計委託等をしています。
公園の管理では、遊具点検を実施し劣化している遊具やベンチなどを修繕したり、樹木の剪定や伐採、トイレの改修工事などを行っています。
水路の管理では、水路護岸の修繕や工事を行うなど、幅広く様々な仕事をしています。

Q2.職場の雰囲気

花と緑と水の係は8人で構成されています。年齢も性別もバラバラですが、皆楽しくアットホームな雰囲気で仕事をしています。
現場確認に行ったり緊急対応をしたりなど外に出ることが多く、連携が必要な業務なので日々情報共有をしたり報告・連絡・相談を大切にしています。

Q3.国立市に就職を決めた理由

私は国立市の近隣に住んでおり、幼少期からとても身近な地域でした。
国立市の公園で遊んだりイベントに行った楽しかった記憶が鮮明に残っており、特にサクラフェスティバルで見たサクラにはとても感動し、これからも残り続けるものとして守っていきたいと思い国立市に就職しました。

Q4.仕事のやりがい

修繕や工事など、目に見えて変化が分かる業務が多いので、完成するととてもやりがいを感じます。公園の遊具や噴水で遊んでいる子供たちや、ベンチやテーブルで楽しくお話ししている方々を見ると、直して良かったなと思う一方もっと頑張ろうと思えます。

Q5.国立市の良いところ

やはり緑が多く、自然豊かなところだと思います。
大学通りには緑地帯があり、春はサクラ、秋にイチョウなど、四季折々自然を堪能することができます。
南部地域では田んぼが多く水路も通っており、水生生物がいたりなど、国立市のなかで全く違う自然の形をそれぞれ楽しむことができます。

Q6.受験者へのアドバイス

ありのままの自分で面接することがとても大事だと思います。今までの経験や自分の考えなどを、国立市の職員としてどう生かしていきたいかをアピールし、気持ちをまっすぐに伝えることが大切です。
国立市で働きたいという熱い想いを伝えましょう！

職員紹介②

※内容は取材当時のものです。

とある1日のスケジュール



8:30 メールチェック
スケジュール確認

9:00 工事現場確認、材料検査

10:00 工事書類確認

12:00 昼休憩

13:00 起工書類(内訳書、図面)作成

15:00 市内小学校へ
業者と現地調査

17:20 退庁

上司と打ち合わせ

行政管理部 建築営繕課
建築営繕係 主任

職種:一般事務(建築技術職)
令和3年度入職

Q1.現在の仕事内容

市有建物の新築、改修工事等の計画、設計、施工等を行っています。具体的には、主管課と工事内容を検討したり、施工業者から提出される書類をチェックしたり、工事が適正に行われているか現場を確認したりしています。

Q2.職場の雰囲気

とても働きやすい雰囲気です。建築営繕課は課長をはじめ職員皆メリハリがしっかりしているため、休みはしっかり確保し、残業もほぼしません。比較的工作範囲が明確で、職員間の風通しも良く、仕事が進みやすい雰囲気があると感じます。

Q3.国立市に就職を決めた理由

ワークライフバランスを確保したかったことが一番の理由です。前職が平日休みだったため、家族と休みが合う土日休みであり、前職の経験を少しでも活かせる仕事が希望でした。比較的に自宅から通いやすかったのも理由の一つです。

Q4.仕事のやりがい

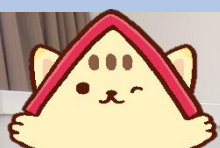
建築物の工事はほとんどが目に見えた形となって完成するため、竣工のたびに達成感を感じることが出来ます。市の建物は多様な利用者のことを考える必要があるため、大変ではありますがやりがいを感じられるところでもあります。

Q5.国立市の良いところ

コンパクトな市であることです。市内なら自転車で回ることができます。職員数も多くはないので職員同士の距離が近くアットホームな雰囲気があると感じます。

Q6.受験者へのアドバイス

公務員ならではの文章や、鎖につながれたPC等のセキュリティ対策に、最初は違和感がありましたが、それらに慣れてしまえば思ったよりも柔軟な職場だと感じています。意見があれば聞いてもらうことができ、働き方もワークライフバランスを取りやすい環境です。雰囲気を感ずるためにも、ぜひ一度国立市役所をのぞいてみていただければと思います。



職員紹介③

※内容は取材当時のものです。



都市整備部都市計画課都市計画係
主任(6年目)

職種:一般事務(土木技術)
令和2年度入職

とある1日のスケジュール



8:30 メールチェック

9:00 窓口対応、資料分析・作成

11:00 関係団体打合せ

12:00 昼休憩

13:00 現場確認

15:00 委託業者打合せ

17:00 メールチェック

17:30 退庁

Q1.現在の仕事内容

主な業務としては、「都市計画マスタープラン」という、国立市のまちづくりを進めるうえで重要な計画の改訂業務を行っています。国立市という個性あるまちの魅力を、時代の変化に対応しながら維持・向上させるための検討を重ねています。

Q2.職場の雰囲気

年齢や役職、部署の壁がほとんどなく、色々なところに気軽に話にいける職場だなと思います。また、部署によっては窓口を工夫して市民を楽しませるようなものを設置してところもあり、職員目線でも見ていて楽しいなと思います。

Q3.国立市に就職を決めた理由

道路関係の仕事をしていたこともあり、舗装の状態が全体的に良好だと思ったことがきっかけでした。その後、そこそこの広さなのに一方通行になっている住宅街や南部に広がる農の風景を見て、約8km²の中に多様な空気感がある国立市に面白さを感じて就職を決めました。

Q4.仕事のやりがい

市役所の仕事は自由度が高い部分もあるため、その中で自分が面白そうと思ったことを、実行できることです。前述したように上司とも距離の近い職場であるため、そういったことがし易い職場だと思います。

Q5.国立市の良いところ

个性的なお店や人材が豊富なところですよ。街中をぶらぶらと歩くだけでも楽しいですし、元々知っていたお店(人)が実は国立でした…ということもあり、何か個性を育む土壌がこのまちにはあるのかなと感じています。

Q6.受験者へのアドバイス

最近は「お堅い役所」のイメージを払しょくし、より市民との距離を近づけるような面白さのある取り組みが市役所には求められている気がするので、「好きなことをどうやって仕事に活かせるか」ということを考えてもらえればと思います。

採用に関するQ&A

私が
お答えします!!



Q1. 国立市内に住んでいないのですが、可否に影響はありますか。

A. 住所や出身地、年齢、学歴等が可否へ影響することは全くありません。市外・県外出身者ならではの視点もあると考えておりますし、多様な背景を持つ職員が活躍しています。

Q2. 公務員試験対策が必要ですか。

A. 言語、計数、英語の試験となり、専門科目はありません。

Q3. 面接にはどんな準備をして臨めばいいですか

A. ご自身の考えを言語化していただき、面接官に伝わるようにお話ししたいと思っています。

Q4. 残業はどの程度ありますか。

A. 令和6年度は月平均で1人当たり約13時間でした。

配属先により繁忙期やイベントなど休日出勤があることもあります。

Q5. 採用後の配属先は希望が反映されますか。

A. 配属は組織全体で調整しますので、必ず希望通りになるものではありませんが、毎年実施する自己申告制度により、本人の意向を確認する機会があります。

Q6. 人事異動はどのように行われますか。

A. 定期の人事異動は、原則として毎年4月1日に行われ、異動のサイクルは3～5年を基準としています。

国立市役所へのアクセス

JR中央線国立駅南口からバス4番乗り場から「国立泉団地」、「国立操車場」、「矢川駅」行きのバスにご乗車いただき「国立市役所入口」にて下車(所要時間約6分)

国立駅から徒歩でお越しの場合は約25分かかります。

JR南武線谷保駅北口またはJR南武線矢川駅北口から谷保駅北口から徒歩で約7分 矢川駅北口から徒歩で約8分

LINEやX(旧Twitter)でも市政情報、イベント・催し物のお知らせや、災害時等の緊急時の情報発信をしています。

LINE及び(旧Twitter)公式アカウント: @city_kunitachi

もっと国立市について知りたい方は、国立市役所ホームページをご覧ください。

国立市役所ホームページ <https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/>

国立市 職員募集



ご応募お待ちしております!!

国立市役所行政管理部職員課

人事・人材育成係

〒186-8501

東京都国立市富士見台2-47-1

☎042-576-2111(内線261)

✉jinji@city.kunitachi.lg.jp

